

科目名	<b>判断推理 I</b>	科目分類	□専門科目 ■総合科目群		
			全学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記 独文表記	<b>Logical Inference I</b> <b>Schlussfolgerung I</b>	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	てらさこ ごう	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	<b>寺迫 剛</b>	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	情報をまとめ、推理する能力をつけましょう。				
到達目標	公務員試験の判断推理の論理問題に対する対応力を高めましょう。 この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1) 判断推理の論理問題の基本的な内容を知ることができます。 2) 判断推理の論理問題を解くコツを学びます				
授業概要	判断推理の論理に関する実際の問題例を用いて基本的な解法を学びます。				
授業計画					
第1回	イントロダクション 判断推理の論理問題とは				
第2回	命題の真偽				
第3回	ド・モルガンの法則				
第4回	ベン図				
第5回	集合と論理の関係				
第6回	集合と論理の個数				
第7回	キャロル図				
第8回	クロス集計表				
第9回	暗号 (換字式)				
第10回	暗号 (転置式)				
第11回	対応関係				
第12回	順序関係				
第13回	平均値と順序				
第14回	発言の真偽 (ウソつき問題)				
第15回	まとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	文部科学省の大学設置基準第21条に基づき、 予習2時間：講義のテーマに関する情報に積極的に接し、疑問点および現時点での考えをまとめておく。 復習2時間：講義を踏まえつつ、問題を復習する。				
履修条件 受講のルール	カリキュラムの規定のとおりです。				
テキスト	国家試験等センター『「判断推理」の基礎』 (独自作成冊子ですが絶版なので、これを参考にレジュメを作成します。)				
参考文献・資料	東京アカデミー編『出た DATA 問 基礎編 一般知能①』(東京アカデミー七賢出版、2019) 伊藤塾『公務員試験過去問トレーニング 伊藤塾のこれで完成！判断推理』(KADOKAWA、2020) 資格試験研究会『公務員試験 判断推理がみるみるわかる！解放の玉手箱』(実務教育出版、2017) TAC 出版編集部『判断推理・資料解釈』(TAC 出版部、2017) LEC 東京リーガルマインド編著『畑中敦子の判断推理の新兵器』(東京リーガルマインド、2010)				

成績評価の方法	<p>期末試験の成績に基づきつつ、講義への参加状況も踏まえ、総合的に評価します。</p> <p>※ノースアジア大学の規定により、出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	木曜日 3 限および 4 限
成績評価基準	期末試験 55%、小テスト 15%、出席率を含む講義への参加度 35%
実務経験及び実務を活かした授業内容	—
学生へのメッセージ	判断推理の試験にはパターンがあります。過去問を学び、解法のコツを押さえておく必要があります。問題例を十分に学んで、試験に臨みましょう。